

第13回 機能制御学セミナー

オートファジーの作動原理

講師：野田 展生 先生

北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授

オートファジーは真核細胞における主要な分解系であり、生体の恒常性維持に働いている。オートファジーの最大の特徴は二重膜オルガネラであるオートファゴソームの新生を伴う点であり、オートファゴソーム内に隔離されたものは原則すべてリソソームへと運ばれ分解される。我々は構造生物学的手法と試験管内再構成、出芽酵母を用いた細胞生物学的解析を複合的に活用することで、オートファゴソーム形成の分子機構の解明を進めている。本講演ではオートファゴソーム形成場の構築からオートファゴソーム膜の伸展、変形に至るメカニズムについて、液-液相分離の役割にも触れながら我々が得た知見を紹介する。

日時：2022年6月16日 (木曜日)

17:30～18:30

場所：

① 医学部 第3講義室

② Zoomで視聴 (質疑も可能)

IDとパスコードは学内に掲示

世話人：神吉智文

機能制御学分野

電話：025-227-2156

kanki@med.niigata-u.ac.jp